

F小委員会

家庭用電気機器、照明機器等の妨害波に関する規格を策定

● 家庭用電気機器・電動工具等の妨害波規格(CISPR 14-1)の改定

【審議状況】

第6版の審議は終了し、8月に発行された。今後は修正1の審議に移行する。

既に3年の審議を経ているIPTの導入の他、前回ストレージャ会議において議題となったクリック測定方法の解釈、80/80%ルールが審議の中心となる。クリック測定方法及び80/80%ルールは、WG1においてTFを設置し、共に日本エキスパートが参加して審議を進めている。

【対処方針】

規格への反映のため、必要に応じて我が国の意見の説明を行う。

● 照明機器等の妨害波規格(CISPR 15)の改定

【審議状況】

前回ストレージャでの審議結果を踏まえて、第9版の2ndCDが発行された。第9版では、ポートやネットワーク等の新しい概念が導入され、規格全体の構成が変わっている。ストレージャ会議での日本提案の多くは採用されているが、まだ検討の余地が残っている箇所が多い。

【対処方針】

伝導測定の適用可否の条件や測定配置などについて意見を提出している。規格への反映のため、必要に応じて我が国の意見の説明を行う。

最近の主な審議状況及び対処方針(F小委員会)(2/2)

● ワイヤレス電力伝送システムの審議

【審議状況】

前回ストレージ会議において、CISPR14-1にワイヤレス電力伝送システムの許容値及び測定法を導入するための2ndDCの審議が行われた。同DCでは、IH式調理器の定義を拡張した「誘導式電力伝送機器(IPT)」として、許容値及び測定法を設定している。

CISPR14-1第6版が発行されたため、修正1としての審議が開始される。

これまでに、我が国の意見はほぼ採用されている。

【対処方針】

規格への反映のため、必要に応じて我が国の意見の説明を行う。